

としよだより

7月号

富山南高校 図書委員会発行
担当:杉田、豊島



この夏、なに読む？

〈読書感想文おすすめ本特集〉

1、2年生の夏休み課題に「読書感想文」があります。もう本は決まりましたか？「どんな本を読めばいいのかわからない」、「本を選び忘れていた！」という人、ご安心ください。今回は読書感想文におすすめの本を紹介したいと思います。

3年生のみなさんは、勉強に疲れたら、読書で息抜きをするのはどうでしょう。ホッとできる本や進路に関する本など、図書館には幅広いジャンルの本があるのでぜひ図書館を利用してください。



『ファール昆虫記』

ファール(著)奥本大三郎(訳)／集英社

この本は、フランスの昆虫学者ファールが昆虫について観察・実験を繰り返し、昆虫の新たな発見や理解を深めていく物語です。

ストーリー性もありながら昆虫について研究を重ねていく姿は、昆虫への情熱と愛を感じる事ができます。彼の少しでも疑問に思ったら調べるといった好奇心の旺盛さ、納得するまで追求する姿は昆虫に興味が無くとも、誰もが惹かれると思います。ぜひ読んでみてください。



『雨の降る日は学校に行かない』

相沢沙呼(著)／集英社

「ねえ、卵の殻が付いている」より

中学2年生のナツとサエは保健室登校をしている。保健室では漫画を読んだりトランプをしたり、たまに勉強したりして過ごした。2人でいれば退屈さなんて忘れられた。サエと過ごす保健室はナツにとって“楽しい2人だけの教室”だった。サエが”自分のクラスに戻る”と言い出すまでは・・・。

学校生活に悩みを持つ6人の中学生の葛藤と希望の物語。



迷ったら課題図書！（高等学校の部）

『宙わたる教室』

伊与原新(著)／文藝春秋

東京・新宿にある都立高校の定時制。そこにはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っていた。

「もう一度学校に通いたい」という思いのもとに集った生徒たちは、理科教師の藤竹を顧問として科学部を結成し、学会で発表することを目標に、「火星のクレーター」を再現する実験を始める。

夜の教室で起こった奇跡の化学反応が胸を打つ、共感度 100%の青春科学小説！



『優等生サバイバル』

青春を生き抜く 13 の法則』

ファン・ヨンミ(作)、キム・イネ(訳)／評論社

首席で進学校に入学してしまったジュノ。入学初日から生徒を成績でランク付けする学校のやりかたに違和感を感じながらも、高校生活が始まる。

入学してからはトップをとれず、思い悩む日々。時事討論サークル「コア」だけが、晴れやかな気持ちになれる貴重な場だ。

ところがある日、サークル仲間のユビンから、転校を告げられる。観光経営学科のある学校に転校し、卒業したら大学には行かず、旅行



会社に就職するつもりだと。将来は自分の会社をつくりたいと言うユビンの、とても大人びて見えた。「ぼくは、はっきりとした目標があって大学に行こうとしているのだろうか」――。

テスト、課題、進路、SNS、恋…。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！ハードな高校生活を生き抜くために、“優等生”のジュノが見つけた法則とは？

『私の職場はサバンナです！』

太田ゆか(著)／河出書房新社

大好きな動物を守りたい。南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝えたい知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なこと。

第1章 どうしてもアフリカで働きたい！

第2章 想像を超えたサバイバル リアルな肉食ライフ

第3章 生き抜くために手を取り合う サバンナの草食動物たち

第4章 見た目も能力も陸とは一味違う！ 空駆ける鳥の世界

第5章 縁の下の力持ち サバンナを支える小さなヒーローたち

第6章 夢は死ぬまでサバンナ 動物と共に生きる未来のために



その他、としよだより6月号で紹介した『八月の御所グラウンド』『神さまのいる書店 まほろばの夏』『あの夏が飽和する。』や、教室と Google Classroom に掲載した「読んでみようこの1冊！」などを参考にしてみてください。